

材質 アルミ  
 仕上 MS (メタリックシルバー)・MU (メタリックアンバー)  
 標準扉厚 30~45mm 標準以外は扉厚をご指定ください。(特注扉厚45~70mm)



22603・22623M

施錠の方法

自動施錠の場合  
 扉を閉めると自動的に施錠されます。

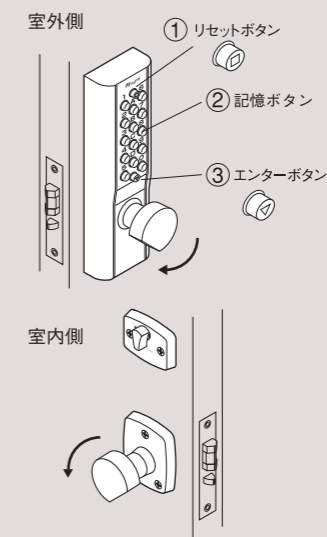
解錠の方法

■ 室外側から

- ① リセットボタンを押し、リセットします。
  - ② 記憶ボタンを押します。  
 (記憶番号は14桁まで任意に設定できます。)
  - ③ エンターボタンを押します。
  - ④ ノブ・レバーを丁番側に回して扉を開けます。
- \* 操作後、エンターボタンが戻った事を確認して下さい。  
 \* 鍵付タイプの場合は、キー操作で開扉できます。

■ 室内側から

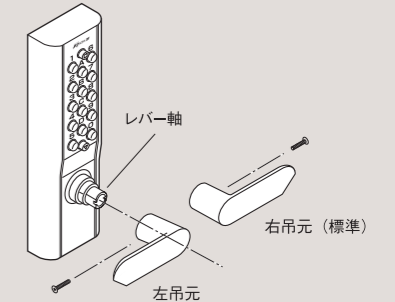
ノブ・レバーを丁番側に回して扉を開けます。



※デッドロック機能への切換方法は、P.04をご参照下さい。

左右吊元の変更 (標準品は右吊り元です)

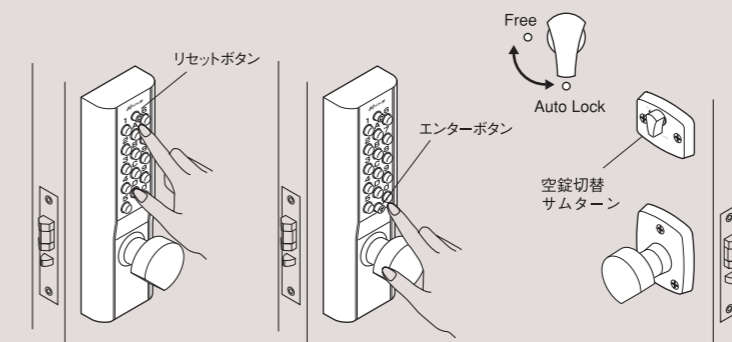
左吊元の場合は、レバータイプのみ、  
 レバーハンドルの向きを変更してください。



※錠は、ラッチ・トリガーの形状が左右対称で  
 吊元変更の必要はありません。

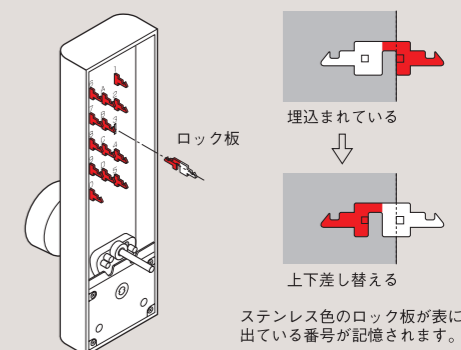
空錠への切換 (扉を閉めても錠がかからない状態 [空錠] にできます)

- ① 扉を開けた状態でリセットボタンを押してから記憶ボタンを押します。
- ② エンターボタンを押したままの状態、③の操作をします。
- ③ 室内側の空錠切替サムターンを [Auto Lock] から [Free] に切換えます。



記憶番号の変更

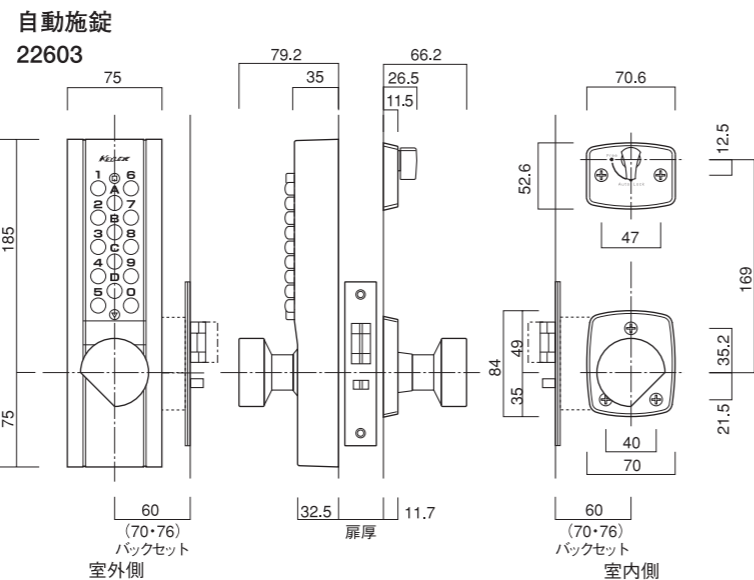
新しく記憶させる番号のロック板をステンレス色が見えるように、上下差し替えます。



ステンレス色のロック板が表に出ている番号が記憶されます。



ノブ自動施錠 (22603) 室内側



レバー自動施錠鍵付 (22623M) 室内側

